



## 言葉を省略しないで

校長 鈿持 利行

12月に入って急に気温が下がってきました。健康に気を付けて、風邪など引かないように注意しましょう。

ところで先日のことです。町を歩いていると、中学1年生くらいの男の子が数人私の前にいて、突然「あっ、ゴミが来た」と言っていました。「ゴミが来る」とはどういうことかと不審に思っていると、ゴミを回収する車がやって来たのです。この車に乗っていた人たちが聞いたら、どう思うでしょうか。「俺たちはゴミじゃないぞ」と怒るかもしれません。私たちは連れだって食堂に入る機会があります。「何にする」「私はラーメン」「僕はチャーハン」。ラーメンの私やチャーハンの僕が出てきます。とは言いながら、自分たちは「紛れもない人間だ」と思っています。そして大抵は、何の気なしにこのような言葉を使っていて、不思議だと思いません。家で、こんな言葉を使っていませんか。「テレビを大きくして」とか「頭を刈った」とか。テレビは大きくなりませんし、頭を刈ったら大変なことになります。日常生活では、これで通じてしまうのですから不思議です。職員室へ来るみなさんにも同じことがあります。「先生、鍵をください」。これでよいでしょうか。たとえば、次のように言ったときとどう違うでしょう。「先生、テニス部の活動をするので、倉庫の鍵を貸してください」。わかりましたか。言葉は省略してはいけないのです。

今の子どもたちは、語彙不足といわれます。いつも言葉を省略して話しているからかもしれません。そのためかどうかわかりませんが、作文の苦手な人が多くなっているそうです。もうすぐ三者面談の時期になります。3年生は入試に向けて、面接の練習も始まっています。正しい言葉を知り、省略しない話ができるようになることを、みなさんに期待しています。

今年も残り僅かとなりました。保護者・地域の皆様、関係者の皆様のお陰で、高松中学校も良い締めくくりができそうです。感謝申し上げます。また、新年もどうぞよろしくお願ひいたします。

### 11月の新聞記事から 教科書や新聞が理解できない？ 読解力の低い中高生が「多い」結果が判明

教科書や新聞記事のレベルの文章を、きちんと理解できない中高生が多くいることが、国立情報学研究所の新井紀子教授らの研究グループの調査で分かった。新井教授は「基礎的な読解力がないまま大人になれば、運転免許や仕事のための資格を取ることも難しくなる」と指摘しています。今回行われたのは「リーディングスキルテスト」。実際にどのような問題が出題されたのか、次の2問を紹介してみます。

#### 【例題1】

「幕府は、1639年、ポルトガル人を追放し、大名には沿岸の警備を命じた」

「1639年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた」

問：上の文が表す内容と下の分が表す内容は同じか、「同じである」

「異なる」のうちから答えなさい

※出典：東京書籍(株)中学校社会科教科書「新しい社会 歴史」

この問題の正答率は中学生が57%、高校生は71%。

#### 【例題2】

「Alexは男性にも女性にも使われる名前であり、女性の名Alexandraの愛称であるが、男性の名Alexanderの愛称でもある」

問：この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい

「Alexandraの愛称は( )である」

(1) Alex (2) Alexander (3) 男性 (4) 女性

※出典：開隆堂出版(株)中学校英語科教科書「Sunshine3」

中学生の正答率は38%、高校生の正答率は65%。

## 実り豊かな高松の森へようこそ

今年も高輪台小学校1年生の「秋見つけ」、白金台幼稚園、高輪幼稚園、みなと保育園によるそれぞれの遠足にと、たくさん子どもたちが『高松の森』を訪れています。園児たちは思い思いに芝生の上を走り回ったり、斜面を滑り台にして遊んでいました。小学生は、松ぼっくりを拾ったり、紅葉した葉を拾ったりと自分たちの秋を見つけて、とても楽しそうな様子でした。



## 全校道徳「命の大切さを学ぶ教室」

12月2日(土)にお招きした岩寄悦子さんは、平成14年1月に当時19歳の息子の元紀さんをひき逃げ事故で亡くされました。以後、特定非営利活動法人「いのちのミュージアム」の活動を通して、事故や犯罪・いじめ等によって理不尽に生命を奪われた犠牲者をメッセンジャーとして、教育現場や警察署を中心に「いのちの授業」を展開し、命の尊さ、残された家族の苦しみや悲しみを訴えています。

この日の講演では在りし日の元紀さんの写真も公表し、事故の悲惨な様子や、当たり前の生活が身勝手な事故によって、被害者の将来の夢や希望を全て奪ってしまうという喪失感についても語っておられました。改めて、命の重みについて考えさせられる授業となりました。



## プログラミングの授業：技術科

今年度、港区の各小中学校にPepperが貸し出され、活用されています。本校でも技術科の授業で、生徒たちがPepperのプログラミングに挑戦しています。11月8日には2年生の技術科の研究授業を行いました。区内の技術科の先生方授業をみていただきました。

Pepperを使って、どんなことをさせたいかを班ごとに考えプログラミングし、実際にPepperを使って発表をしました。



アイデア次第で、利用価値も増えていくでしょうね。

## 高松アカデミーによる研究授業

港区では、幼稚園、小学校、中学校が地区ごとに分かれて、アカデミーを形成し、園や学校の様子をお互いに見合うことで、それぞれの教育活動に対する理解を深めています。

11月22日には、高松中学校、高輪台小学校、白金幼稚園、高輪幼稚園の先生方が、白金小学校に集まり、研究授業が行われました。アカデミーの目指す「豊かに学び、豊かに生きる子ども」の育成に向けて、今後の学校間における連携や授業等の工夫などについて、意見を交わして、教育活動に生かしていきます。



## 文化の秋！今年もたくさんの賞をいただきました。

### ◇港区交通安全ポスターコンクール

銅賞：1年 長谷川 花音

### ◇一茶まつり全国小中学校生俳句大会

入選：1年 高橋ひかり 2年 高田 晃雅

3年 栗田 桜 3年 棚部 智弥

### ◇NPO法人ふるさと小中学生俳句プラザ俳句大会 入選・入賞作品

2年 木川 綾香 2年 勝谷 玲奈 2年 赤松 初香

2年 金子 英樹 3年 天野 羽花 (敬省略)



【交通安全ポスター 長谷川さんの作品】

※保護者の方へ…「学校評価アンケート」を配布しました。12月13日(水)締切りです。提出をお願いします